コミュニティーガス事業を後押し

けんじゃのいし

料金改定を支援

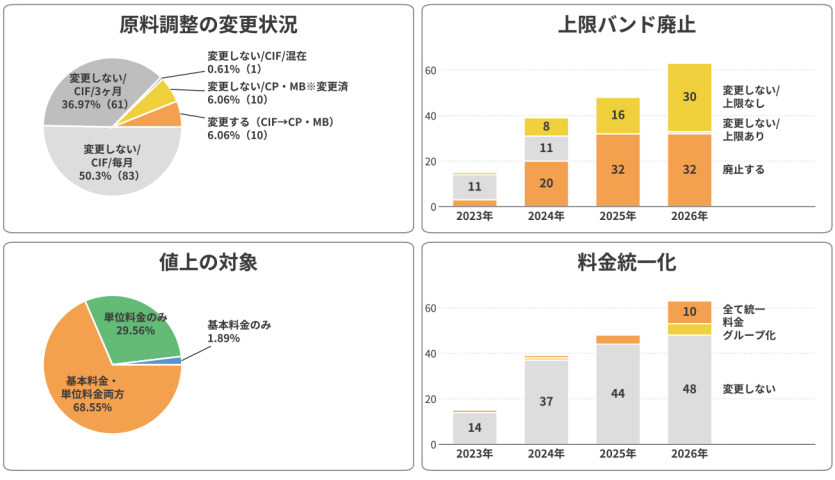
けんじゃのいし（本社・名古屋市、原秀幸社長）はコミュニティーガス事業者の持続的な経営を支援するサービスを充実させている。その中心となっているのが料金改定の支援だ。エネルギー価格をはじめとした物価の上昇が長引いているなかで、コミュニティーガス事業では料金改定を思うように進められていない現状がある。同社は設立後の4年間で約180社、約1300地点群の料金改定の支援を行ってきた。

コミュニティーガスの料金改定においては消費者目線で見た「合理的な料金」であることが求められることは言うまでもない。そのため新たな料金を算定する場面では明確な根拠の存在が必要不可欠だ。同社では算定根拠を整理する場面において日本コミュニティーガス協会が提供する「料金算定ツール」を使用している。これにより新料金が合理的な根拠に基づいて算出されたものである安心感が大きくなる。

自由化団地では、値上げだけではなく料金メニューを最適化する動きもある（図表参照）。また料金改定においては1度で値上げを実施した場合、消費者の負担が大きくなってしまうおそれがある。そのため同社では複数回に分けて段階的に料金の見直しを行っていくべく計画を立てることを推奨している。各年度でテーマを決めて業務改善も進められるよう提案することでコミュニティーガス事業者の業務改善を後押しする。

料金改定以外についてもサポート体制を整えている。新規団地の料金設定、指定解除の進め方、事業廃止に向けた取り組み、書面交付のデジタル化、安心・見守りサービスをはじめとする付加価値サービスによる持続的な収益確保と他社との差別化の両立――などメニューは多岐にわたる。事業の合理化や業務の効率化の取り組みを現場に寄り添うことで、コミュニティーガス事業者の持続的な経営と顧客への安定供給を支えていく。

コミュニティーガスにおける料金改定の実施状況



料金改定のロードマップ（例）

